

# 宮城米食べ元気出して

石巻の農家グループ「十日会」

「あの時受けた恩は忘れていない」。東日本大震災で被災した石巻市の農家が3日までに、土砂災害に襲われた広島市の避難者に宮城米390キを贈った。受け取ったNPO法人代表人会長の免出和子さん(74)は「広島市佐伯区」は「ありがたい話。早く避難者の元に届けた」と頬を緩めた。

宮城米を贈ったのは、どもたちに、このNPOでおり、他の仲間「あの石巻市の農家グループから広島名産もみじまん時のお礼」を呼び掛けた。「十日会」メンバーが、東じゆうや復興を願うミサ 免出さんは当初、避難日本大震災で被災した子ンガが届いたことを覚え 所での炊き出しに使おう

## 広島避難者へ390キロ

### 震災支援の恩返し贈る



石巻市から届いた米を小分けし袋詰めする免出さん(右端)ら11日、広島市佐伯区

と考えたが、「避難者のおの食べ方で味わってほしい」と思い直し、5ずつ小分けに届いた米袋に書かれていたメッセージの文面「このお米を食べて元気になってください 宮城県石巻市十日会」を張り紙にして、作った60袋に貼り付けた。避難所で配布予定で、残り90は別の形で避難者に届けるつもりだ。

十日会は「震災の時の恩返し。おいしい宮城米を食べて元気になってほしい」とエールを送る。免出さんは「石巻の方々の誠意を大切にしたい」と笑顔で語った。

(2014年9月4日河北新報朝刊)

①お米を贈った人、贈ったわけ、贈られた人を表に整理しましょう。

贈った人	贈ったわけ	贈られた人

②あなたやあなたのまわりの人は、東日本大震災の時、誰かと助け合ったり、支え合ったりしたことがありますか。

年 組 名前

(小学校・中学校/道徳)